

平成29年度
一般1期入学試験問題

数 学
(薬学部)

注 意 事 項

1. 問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題用紙と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ① 氏名欄 氏名及びフリガナを記入しなさい。
 - ② 受験番号欄 受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
 - ③ 試験種別欄 一般1期にマークしなさい。
 - ④ 教科・科目欄 数学にマークしなさい。
4. **I** は必答、**II** **III** **IV** については、これらより2問を選択して解答しなさい。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、**10** と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解 答 番 号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

6. 問題用紙は、試験終了後持ち帰りなさい。

全員必答 **I** は必ず解答すること。

I 以下の各問いの にあてはまるものを選べ。

問1 2次方程式 $x^2 - 4x - 8 = 0$ の解のうち、大きい方の解を α 、2次方程式 $x^2 - 6x + 6 = 0$ の解のうち、小さい方の解を β とする。このとき $\alpha =$, $\beta =$ である。

問2 n を正の実数として、 x の不等式 $|x - 2| < \frac{n}{3}$ …① について考える。

ただし $|a|$ は、 $a \geq 0$ のとき $|a| = a$ 、 $a < 0$ のとき $|a| = -a$ である。

(1) $n = 3$ のとき①の解は である。

(2) ①の解を n を用いて表すと であり、問1で求めた β が①の解を満たすとき、 n の範囲は であるからこれを満たす自然数で最小のものは $n =$ である。

また、問1で求めた α 、 β の一方のみが①の解を満たすとき、 n の範囲は であるからこれを満たす自然数は 個ある。

1 の選択肢

- ① $-2 - 2\sqrt{3}$ ② $-2 + 2\sqrt{3}$ ③ $-2 - \sqrt{3}$
④ $2 - \sqrt{3}$ ⑤ $2 - 2\sqrt{3}$ ⑥ $2 + 2\sqrt{3}$

2 の選択肢

- ① $-3 - 2\sqrt{3}$ ② $-3 + 2\sqrt{3}$ ③ $-3 - \sqrt{3}$
④ $-3 + \sqrt{3}$ ⑤ $3 - \sqrt{3}$ ⑥ $3 + \sqrt{3}$

3 の選択肢

- ① $-1 < x < 1$ ② $x < -1, 1 < x$ ③ $1 < x < 3$
④ $x < 1, 3 < x$ ⑤ $-1 < x < 3$ ⑥ $x < -1, 3 < x$

4 の選択肢

- ① $-\frac{n}{3} < x < \frac{n}{3}$ ② $x < -\frac{n}{3}, \frac{n}{3} < x$
③ $2 - \frac{n}{3} < x < 2 + \frac{n}{3}$ ④ $x < 2 - \frac{n}{3}, 2 + \frac{n}{3} < x$
⑤ $-2 - \frac{n}{3} < x < -2 + \frac{n}{3}$ ⑥ $x < -2 - \frac{n}{3}, -2 + \frac{n}{3} < x$

5 の選択肢

- ① $3(\sqrt{3} - 1) < n$ ② $n < 3(\sqrt{3} - 1)$
③ $3(1 - \sqrt{3}) < n < 3(\sqrt{3} - 1)$ ④ $n < 3(1 - \sqrt{3}), 3(\sqrt{3} - 1) < n$
⑤ $3(1 - \sqrt{3}) < n$ ⑥ $n < 3(1 - \sqrt{3})$

6 の選択肢

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6

7 の選択肢

- ① $n \leq 3(\sqrt{3} - 1), 6\sqrt{3} < n$ ② $3(\sqrt{3} - 1) \leq n < 6\sqrt{3}$
③ $n < 3(\sqrt{3} - 1), 6\sqrt{3} \leq n$ ④ $3(\sqrt{3} - 1) < n \leq 6\sqrt{3}$
⑤ $n \leq 3(\sqrt{3} - 1), 6\sqrt{3} \leq n$ ⑥ $3(\sqrt{3} - 1) \leq n \leq 6\sqrt{3}$

8 の選択肢

- ① 4 ② 5 ③ 6 ④ 7 ⑤ 8 ⑥ 9

選択解答 **Ⅱ** ~ **Ⅳ** の 3 問のうち、2 問のみを
選んで解答すること。

Ⅱ 曲線 $y = x^3 + px^2 + 4x \cdots \textcircled{1}$ は $x = 2$ で極小値をもつものとする。以下の各問
いの にあてはまるものを選べ。

問1 定数 p の値は $p = \text{9}$ であり、極大値は 10 である。また、 $x = 0$
における $\textcircled{1}$ の接線は $y = \text{11}$ である。

問2 曲線 $\textcircled{1}$ と $y = mx$ が相異なる 3 点で交わる場合を考える。 $\textcircled{1}$ と $y = mx$ は
 $x = \text{12}$ で必ず交わり、 $x = \text{12}$ 以外の 2 つの交点がともに第 1 象限に
あるとき、定数 m の値の範囲は 13 である。

よって、このとき $\textcircled{1}$ と $y = mx$ で囲まれてできる 2 つの図形の面積が等しい
とき、 m の値は $m = \text{14}$ である。

9 の選択肢

- ① -5 ② -4 ③ -2 ④ 2 ⑤ 4 ⑥ 5

10 の選択肢

- ① -32 ② $-\frac{128}{27}$ ③ $-\frac{32}{27}$ ④ 0 ⑤ $\frac{32}{27}$ ⑥ $\frac{128}{27}$

11 の選択肢

- ① $4x$ ② $-4x$ ③ $-4x-4$
④ $-4x+4$ ⑤ $4x-4$ ⑥ $4x+4$

12 の選択肢

- ① $m-4$ ② $\frac{m}{2}-2$ ③ m ④ -4 ⑤ 0 ⑥ 2

13 の選択肢

- ① $-4 < m < 0$ ② $m < -4, 0 < m$ ③ $0 < m < 4$
④ $m < 0, 4 < m$ ⑤ $0 < m < 8$ ⑥ $m < 0, 8 < m$

14 の選択肢

- ① $\frac{4}{9}$ ② $\frac{2}{3}$ ③ $\frac{8}{9}$ ④ $\frac{9}{8}$ ⑤ $\frac{3}{2}$ ⑥ $\frac{9}{4}$

Ⅲ AB = 5, AC = 13, $\angle B = 90^\circ$ の直角三角形 ABC がある。以下の各問いの
□ にあてはまるものを選べ。

問1 辺 BC の長さは □ 15 □, $\triangle ABC$ の内接円の半径は □ 16 □ である。

問2 $\triangle ABC$ の内接円と辺 AB, BC, CA との接点を P, Q, R とし, 内接円の中心を I とする。直線 BI と辺 AC の交点を S とする。このとき, AR の長さは □ 17 □ であり, AS の長さは □ 18 □ である。

また, PC の長さは □ 19 □ であるから, PC, BI の交点を T とおくと, PT の長さは □ 20 □ である。

15 の選択肢

- ① 6 ② $4\sqrt{3}$ ③ $6\sqrt{2}$ ④ $4\sqrt{6}$ ⑤ 12 ⑥ $6\sqrt{6}$

16 の選択肢

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6

17 の選択肢

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6

18 の選択肢

- ① $\frac{17}{156}$ ② $\frac{12}{65}$ ③ $\frac{17}{65}$ ④ $\frac{65}{17}$ ⑤ $\frac{65}{12}$ ⑥ $\frac{156}{17}$

19 の選択肢

- ① $8\sqrt{2}$ ② $3\sqrt{15}$ ③ $2\sqrt{35}$ ④ $2\sqrt{37}$ ⑤ $3\sqrt{19}$ ⑥ $4\sqrt{10}$

20 の選択肢

- ① $\frac{8\sqrt{2}}{7}$ ② $\frac{3\sqrt{15}}{7}$ ③ $\frac{2\sqrt{35}}{7}$ ④ $\frac{2\sqrt{37}}{7}$ ⑤ $\frac{3\sqrt{19}}{7}$ ⑥ $\frac{4\sqrt{10}}{7}$

IV 以下の各問いの にあてはまるものを選べ。

問1 数列 $\{a_n\}$ は $a_{n+1} = a_n - 1$, $a_1 = 2$ を満たす。数列 $\{a_n\}$ の一般項は 21 である。また, $a_n < n^2 - 3n - 117$ を満たす最小の n は 22 である。

問2 数列 $\{b_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とする。このとき, $S_1 = 1$, $S_{n+1} - \frac{1}{2} S_n = \frac{1}{2^{n+1}} + \frac{1}{2}$ を満たす。 b_1 , b_2 を求めると, それぞれ $b_1 =$ 23 , $b_2 =$ 24 である。

また, $S_n - \frac{1}{2} S_{n-1} = \frac{1}{2^n} + \frac{1}{2}$ だから b_{n+1} と b_n の関係式は $b_{n+1} =$ 25 となるので, $c_n = 2^n b_n$ とおくと, c_{n+1} と c_n の関係式は $c_{n+1} =$ 26 となるので, 数列 $\{b_n\}$ の一般項は 27 である。

21 の選択肢

- ① $-n+3$ ② $-n+2$ ③ $-n+1$
④ $n+1$ ⑤ $n+2$ ⑥ $n+3$

22 の選択肢

- ① 11 ② 12 ③ 13 ④ 14 ⑤ 15 ⑥ 16

23 の選択肢

- ① -2 ② -1 ③ $-\frac{1}{2}$ ④ $\frac{1}{2}$ ⑤ 1 ⑥ 2

24 の選択肢

- ① $-\frac{3}{4}$ ② $-\frac{1}{2}$ ③ $-\frac{1}{4}$ ④ $\frac{1}{4}$ ⑤ $\frac{1}{2}$ ⑥ $\frac{3}{4}$

25 の選択肢

- ① $\frac{1}{2}b_n - \frac{1}{2^{n+1}}$ ② $\frac{1}{2}b_n + \frac{1}{2^{n+1}}$ ③ $\frac{1}{4}b_n - \frac{1}{2^{n+1}}$
④ $\frac{1}{4}b_n + \frac{1}{2^{n+1}}$ ⑤ $\frac{1}{8}b_n - \frac{1}{2^{n+1}}$ ⑥ $\frac{1}{8}b_n + \frac{1}{2^{n+1}}$

26 の選択肢

- ① $\frac{1}{2}c_n - 1$ ② $\frac{1}{2}c_n + 1$ ③ $c_n - 1$
④ $c_n + 1$ ⑤ $c_n - \frac{1}{2}$ ⑥ $c_n + \frac{1}{2}$

27 の選択肢

- ① $\frac{-n+3}{2^n}$ ② $\frac{-n+2}{2^n}$ ③ $\frac{-n+1}{2^n}$
④ $\frac{n+1}{2^n}$ ⑤ $\frac{n+2}{2^n}$ ⑥ $\frac{n+3}{2^n}$

計 算 用 紙

計 算 用 紙

